

今回の議会では、私が所属する農林水産委員会において、国がワクチン接種方針を打ち出した豚コレラ対策について質問を行いました。以下その概要をお伝えします。
(なお、答弁は質問日である10月3日時点のもの。詳細はホームページにて公開しています)

質問 国は予防ワクチンの接種の方向性を出した。近隣県も早期に接種したいとの意向を持っている。国の防疫指針の改定について、都道府県の意見照会は10月7日まで。その後、知事が接種の是非の判断をして接種プログラムの協議、ワクチン引き渡し、接種という流れになる。

質問 ワクチン接種地域について。防疫指針案ではワクチン接種地域は知事が決めることとなっている。国の説明では地域を分けて打つことも可能とされている。しかしワクチン接種の趣旨から考えると全県で打つべきではないか。県として全県で打つ方針でよいか。

答弁 難しい問題ではあるが、田原・豊田の疫学的なものはわかっていないためイノシシの有無にかかわらず生産者は不安である。従って意見は聞くが最終的には県下一律で打つ方向になるだろう。

質問 接種の是非の判断時期について。国からの答申が10月中旬に出てくる中で他県がそれに合わせて判断を行うことになると考えられる。そうすると県としても一つの基準が10月中旬になると考えるが、県として接種の是非の判断時期は10月中旬と考えてよいか。

答弁 まさにその通り。10月中旬に指針改正が予定されている。打つ打たないの意見集約はこれから行っていくがその日程に遅れることなく準備を進めていきたい。

質問 接種の是非について。県として接種の是非の方針は未定とのことだが他県が打つ中で愛知のみが打たないということは防疫上の観点からも現実的ではない。愛知も打つ方向とすべきではないか。

答弁 現在は打つ打たないの判断はまだしていない。関係者と調整して一つの方向性としてまとめていきたい。現在の判断は白紙である。

※その後、県は10月15日に県下一律でワクチン接種を行うことを発表

質問 風評被害対策について。指針の中には不適切な表示の禁止という項目があり、風評被害を抑えていく一つの方策として示されている。一方でワクチン接種豚は小売店でワクチン接種済というラベルを貼って販売しなければいけないという意見もあるが、まさにそのことが不適切な表示にあたるのではないか。

答弁 まさにその通り。同様に今回流通制限をかけない中で「ワクチンを接種していない」という表示も不適切表示にあたる。

質問 イノシシへの経口ワクチンについて。3月に散布を始め、今は犬山、瀬戸、岡崎、豊田に広げている。現在までの散布数と抗体率について伺う。

答弁 県下529箇所、1万2400個を散布。今後は合計2万3000個を散布予定。現在集約している免疫獲得率は74%、欧州委員会が作成したガイドラインでは感染拡大防止のためには獲得率40%が必要とされているので一定の効果が出ていると思われる。

質問 イノシシ猟について。岐阜県は狩猟を禁止している。理由としては狩猟による感染拡大の懸念から。狩猟については捕獲によるイノシシの頭数減と感染拡大のリスクの比較衡量であると思うが、愛知が狩猟解禁とした理由と感染拡大防止策について伺う。

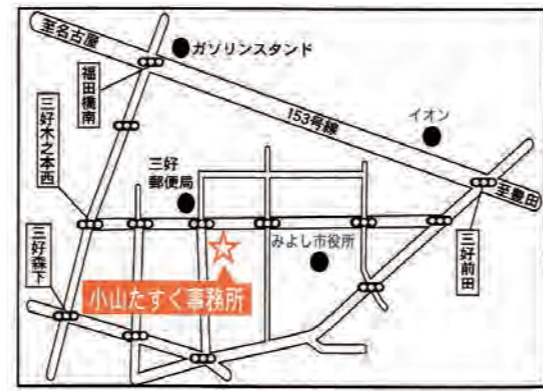
答弁 豚コレラ対策として野生イノシシの個体数削減が必要であり、狩猟者による捕獲も必要であると判断した。狩猟にあたっては消毒を始め防疫措置の徹底、陽性エリアでの狩猟者の他地域での狩猟抑制を行う。

皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

おやま
みよし市役所北西・三好郵便局向かい

小山たすく事務所

〒470-0224 みよし市三好町湯ノ前103
TEL **0561-32-0803**
FAX 0561-32-0810
E-mail **miyoshi@otasuku.net**



愛知県議会議員

小山たすく 県政レポート



おやま
小山たすくプロフィール

1978年(昭和53年)6月29日生まれ。
愛知教育大学附属高校、愛知大学法学部卒業。
2007年4月 愛知県議会議員選挙 初当選。
2011年4月 愛知県議会議員選挙 2期目当選。
2015年4月 愛知県議会議員選挙 3期目当選。
2019年4月 愛知県議会議員選挙 4期目当選。
ローカルマニフェスト推進連盟会員
全国災害ボランティア議員連盟会員
日本地域創生学会会員
現在 愛知県議会議会運営委員会 副委員長
議員提案条例プロジェクトチーム事務局長
アジア競技大会調査特別委員会委員
農林水産委員会委員

愛知県議会 9月定例議会は9月20日～10月15日まで開かれ、総額132億2670万の補正予算や条例の制定・一部改正など27議案が可決・成立しました。

補正予算については、豚コレラ緊急対策として防疫体制の強化や農家経営支援、今年8月末に開業した愛知県国際会議場での「ロボカップジャパン2020」の開催費負担金などが盛り込まれています。

また、台風19号により関東地方を中心に大きな被害をもたらした浸水被害対策について、本県での大規模災害発生時に浸水が危惧されるゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備費も計上されました。

そのほか、G20開催に伴うドローンの規制条例やスタートアップ支援拠点の運営権に関する条例の制定、浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部改正等の条例案も成立しました。

「愛知県SDGs未来都市計画」を策定!!

愛知県は、本年7月1日に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、この度、「愛知県SDGs未来都市計画」(計画期間2019～2021年度)を策定し、SDGsの達成に向けて、2030年のあるべき姿や今後3年間に先導的に進める取組をまとめました。今後は、「愛知県SDGs推進本部」を中心に、計画に基づく取組の推進や進行管理を着実にを行い、「経済」「社会」「環境」の三つの側面の調和を取りながら活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指していきます。

「SDGs (エスディーゼーズ)」とは
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」で構成されています。

- ～2030年を期限とする包括的な17の目標～
- ① 貧困をなくす
 - ② 餓死をゼロに
 - ③ すべての人に健康と福祉を
 - ④ 質の高い教育をみんなに
 - ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
 - ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
 - ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
 - ⑧ 働きがいも経済成長も
 - ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - ⑩ 人や国の不平等をなくそう
 - ⑪ 住み続けられるまちづくりを
 - ⑫ つくる責任、つかう責任
 - ⑬ 気候変動に具体的な対策を
 - ⑭ 海の豊かさを守ろう
 - ⑮ 陸の豊かさを守ろう
 - ⑯ 平和と公正をすべての人に
 - ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう

今議会に提案・可決された施策と予算のうち、主なものをお知らせいたします。

〈予算関連〉

豚コレラ緊急対策を拡充します (予算額 38億9822万円)

- 1 防疫対策の推進
 - 殺処分等の防疫措置に係る資材の購入、埋却作業や消毒ポイント作業に要する経費等
- 2 農家経営支援
 - 農家経営支援費補助金等
- 3 防疫体制強化
 - 車両消毒施設整備事業費補助金等
- 4 感染拡大防止対策
 - 野生イノシシ移動防止柵の設置



SDGs 未来都市あいちを推進 します (予算額 1435万円)

「愛知県SDGs未来都市計画」の推進に向けて、県内全域でSDGsの普及啓発を行うとともに、先導的取組として位置付けた生物多様性保全等の取組を積極的に推進します。

- 1 SDGs 未来都市計画推進費
 - 県民向けのワークショップやセミナーを開催するとともに、SDGsや「愛知県SDGs未来都市計画」の概要をまとめたパンフレット作成等
- 2 生物多様性SDGs推進費
 - (1) SDGsの担い手育成
 - 企業・大学・NPOと連携したセミナーや市町村職員向けの研修の開催等
 - (2) 先導的SDGsモデルの展開
 - 大学生等のユース世代による生態系保全活動を全县に拡大するための施策展開等



介護事業所のICT機器の導入を支援 します (予算額 5220万円)

地域医療介護総合確保基金を活用し、介護職員の職場環境の改善及び介護サービスの向上を図るため、介護事業所の業務を効率化するICT機器の導入に対して助成します。

- 補助対象 県内に所在する介護事業所 174事業所
- 基準額 1事業所あたり 600千円
- 補助率 1/2
- 対象経費 ソフトウェア(介護ソフト)、タブレット端末・スマートフォン等、ハードウェア、保守・サポート費、セキュリティ対策 費等



スタートアップ支援拠点の整備を推進します (予算額 2438万円)

- 愛知県勤労会館跡地(名古屋市昭和区鶴舞)にスタートアップ支援拠点「ステーションAi(アイ)」を整備します。
- 県内各地域と連携し、様々なテーマ・分野に特化したサテライト支援拠点について、県が市町村、企業、大学等の意向をヒアリング調査等で確認した上で、整備候補地や拠点のあり方などについて総合的な専門調査を行います。
- 2020年1月から名古屋市内に民間施設を活用したスタートアップの早期支援拠点を開設し、スタートアップ企業の支援を行います。

緊急交通安全対策を実施します (予算額 1億2280万円)

- 1 緊急高齢運転者交通安全対策費
 - 高齢運転者交通安全セミナーの開催等
 - 交通安全啓発イベントの実施
- 2 交通安全施設整備費
 - 信号灯器(LED化) 568本
 - 道路標識 448本
 - 道路標示 49km



ロボカップジャパンオープン2020あいちを開催 します (予算額3867万円)

2020年10月に開催される「あいちロボカップAP2020」のプレ大会として、2020年3月に愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」で、ロボカップの国内大会を開催します。

日程	2020年3月20日(祝・金)～22日(日)
主催	あいちロボカップAP2020開催委員会
会場	愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学生等による自律型ロボットを用いた競技会 ・競技種目：サッカー、@ホーム、レスキュー、インダストリアル、UAV(ドローン) ・ロボカップジュニア競技エキシビジョン・体験会 ・ロボット工作教室、デモンストレーション ・県内モノづくり企業と競技参加学生とのマッチングイベント



ジブリパーク開業に向けた公園整備を 推進します (予算額 7500万円)

長久手市にある「愛・地球博公園」に整備予定のジブリパーク開業に向け、公園整備の基本設計などに着手します。

【施設整備スケジュール】

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 総合案内センター(仮称)基本設計	基本設計	実施設計	工事	開業
2 公園サイン基本設計				
3 園路広場基本設計				
4 青春の丘エリア樹木移植の調査・検討	調査・検討	移植		

愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」 において官民連携による催事を開催し ます (予算額 1億5492万円)

愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」の運営権対価収入を原資とした「展示会産業振興基金」を活用して、官民連携による様々な催事を開催します。

【Aichi Sky Expo利用促進補助金を活用する催事】

催事名	開催時期
愛知県社会福祉大会	2019年10月30日(水)
The Collection (海外スーパーカーの展示会)	2019年11月9日(土)～10日(日)
愛知・知多半島マーケット2020	2020年1月25日(土)～26日(日)
HAPPY MAMA FESTA	2020年2月28日(金)～3月1日(日)
第5回あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会	2020年2月28日(金)～3月1日(日)
鉄道フェスタ in「Aichi Sky Expo」	2020年3月20日(金)～21日(土)
ロボカップジャパンオープン2020あいち	2020年3月20日(金)～22日(日)

〈条例関係〉



浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部 改正について

本県の公共用水域での水質汚濁の主な原因となっている生活排水への対策を推進するため、浄化槽保守点検業者の資質向上を図り、浄化槽の適正な維持管理を促進します。

- 1 改正の主な内容
 - 優良な浄化槽保守点検業者の認定
 - ・浄化槽保守点検業の実施に関し優れた能力及び実績を有する者を、優良浄化槽保守点検業者として認定する制度の創設【全国初】
 - ・優良浄化槽保守点検業者の登録期間(現行は一律3年)を5年に延長
 - 浄化槽保守点検業者等に対する規制の強化
 - ・登録を受けないで浄化槽保守点検業を営む者を、報告徴収及び立入検査の対象に追加【全国初】
 - ・浄化槽管理士に、1つの浄化槽保守点検業者の専属となること等を義務付け
 - ・浄化槽保守点検業者に、浄化槽管理士に対する研修の機会を確保することを義務付け
 - ・浄化槽保守点検業者に、浄化槽の管理者へ清掃及び法定検査の時期の通知等を行うことを義務付け